

大麦特報 第2号

令和2年2月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

本年は積雪量が少なく、大麦は下葉の黄化がみられるものの、葉色は徐々に濃くなってきています。

今後の生育を確保するため、ほ場をこまめに見回り、停滞水があれば速やかに排水しましょう。

1 排水溝の点検・手直し

大麦は、ほ場内に水が停滞すると、湿害（根腐れ症状）を受け、生育量の不足、収量の減少につながります。

<点検のポイント>

- ・水口がしっかり止まっているか？
- ・連結した排水溝に水が溜まっていないか？
- ・排水溝が埋まっていないか？
- ・掘り下げた水尻から水が抜けているか？

◎排水溝の手直しや増設、水尻の掘り下げを徹底しましょう。



溝に水が停滞しないように手直しをしましょう。



溝と水尻をしっかり連結!!

2 消雪後追肥の対応について

肥効調節型肥料(LP大麦48号)を施用した場合

下葉の黄化がみられるものの、莖数が増加し、葉色が濃くなってきていることから、原則追肥は行わないでください。

※ただし、極端に葉色が薄い場合は、JAや農林振興センターにご相談ください。